

# NEWS LETTER

No. 34  
2024.02  
WINTER

TOPICS  
01

## 池田弘乃先生が初代受賞者に決定！

### 「山形大学男女共同参画及びダイバーシティ推進賞」



池田弘乃先生

今年度、ダイバーシティ推進室では、新たな表彰制度として「山形大学男女共同参画及びダイバーシティ推進賞」を設けました。

この表彰制度は、男女共同参画及びダイバーシティの推進に貢献した山形大学の教職員及び教職員で構成する団体（教職員と学生を構成員とする団体を含む）を表彰することにより、その功績を称えて更なる活動を促し、また、大学全体の男女共同参画およびダイバーシティに対する意識の醸成を図ることを目的としたものです。

その初代受賞者には、複数の受賞候補者の中から、人文社会科学部担当の池田弘乃先生が選ばれました。令和5年12月12日（火）には表彰式が挙行され、学長から表彰状が授与されました。授賞理由は、山形県全体のダイバーシティを一層推進すべく、学内にとどまらず、メディアや地方自治体の政策策定にもつながる活動を精力的に行っており、社会的インパクトや今後の継続性・発展性が大きいことなどです。

#### 池田先生からのコメント

今回のご連絡をいただいたとき、正直なところとても驚き、戸惑いました。もし私に少しでも表彰に値するところがあるのだとしたら、それは多くの方々のご協力と、そして多くの方々との協働との賜物であることは間違いありません。

例えば、ジェンダーや多様な性に関わる自由なそして安全な懇談の場であることを目標としているカラフルCaféについて言えば、その開始当初から、石垣和恵先生（地域教育文化学部）や松井愛さん（NPOぶらいず相談役）、そして多彩な学生たちと共に試行錯誤しながら開催してきたものですし、今では小白川キャンパスのみならず米沢キャンパスでも中澤未美子先生（工学部）が様々な取組みにご尽力くださっています。また、ダイバーシティ推進事務室の皆様が折に触れて支えてくださっていることにもあらためて感謝申し上げます。これらの方々との賞をわかちあいたいと思っています。

多様性については、「いかにして」実現するかという議論に比べると「なぜ」重要なのかという議論はまだ十分とはいえないかもしれません。多様性が、集団や組織にとって不確実な未来に対応するために重要であるということはいえるだろうと思いますが、集団や組織を構成する諸個人の尊重こそがより根底的な理念であると考えています。多様性の事実を見据えてこそ、個人の尊重という理念を現実のものにしていけるからです。

これからも、個人が尊重される社会の土壌をより確かなものとするため微力を尽くしていきたいと思っています。



表彰式



共同代表を務めた昨年の  
やまがたカラフルパレード



授賞理由や取り組みはこちら



# 祝！栗山恭直先生が「令和5年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」を受賞



栗山恭直先生

理学部主担当の栗山恭直先生が「令和5年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」の「功労者表彰」を受賞しました。同賞受賞者は1名です。

この「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」は、男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人若しくは団体又は仕事や地域活動等、様々な分野でチャレンジし活躍している個人若しくは団体を顕彰し、その功績等を称え、男女共同参画社会づくりに対する県民の一層の関心を高め、男女共同参画社会の形成の促進に資することを趣旨とした表彰です。

この知事表彰には「功労者表彰」「チャレンジ賞」の2種類があり、中でも、栗山先生が受賞された「功労者表彰」は、男女共同参画社会づくりに積極的に取り組み、その功績が特に顕著であると認められる個人若しくは団体（活動歴が概ね10年以上）を対象としています。

山形大学着任後、20年以上にわたり、理学部の学生及び大学院生の教育・研究に携わる傍ら、化学の魅力を一般市民に幅広く伝える実践活動を通して、依然として数の少ない理系分野で活躍する女性の支援やその育成に尽力してきたことが評価されました。



## 男女共同参画に関する一行詩に本学学生が入賞

ダイバーシティ推進室が担当している授業において、山形市が募集している「男女共同参画に関する作品」一行詩に応募したところ、今年度の審査の結果、本学の学生が入賞しました。

### 【最優秀賞】

大橋 芙透衣さん〈理学部2年〉

「女性でその仕事に就くなんて聞いたことはない。無謀だよ。」そう。それならちょうどいい。女性として一番乗りになって見せる。そして、そんな言葉、もう言わせない。

### 【入選】

白山 裕貴さん〈理学部2年〉

当たり前だと思っけても本当にそうかな。男だから、女だから、その一言で片づけてはいけない。あなただから任せられる。その一言こそ当たり前。

高橋 歩夢さん〈工学部2年〉

“おふくろの味”も大好きだが、“おやじの味”も食べてみたい。男女で繋いでいこう我が家の味。



## やさしい日本語でつながる世界

「外国語は苦手だから、外国人との交流は難しいな」と思っている皆さん！「やさしい日本語」という言葉をご存知ですか？やさしい日本語とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

2018年に実施された東京都在住または在勤の外国人100名を対象とした「希望する情報発信言語」の調査（東京都国際交流委員会）では、「やさしい日本語」を希望した人が、機械翻訳された母国語や英語を上回り76%と最も多く、やさしい日本語に対するニーズが高いことがわかりました。

国籍の多様化が進む中、皆さんも「やさしい日本語」を使って新たなコミュニケーションへの一歩を踏み出してみませんか？

参考：[https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo\\_nihongo/kyoiku/92484001.html](https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html)（文化庁HP）



### ダイバーシティ推進室からのお知らせ

- 『報告』・令和5年12月11日に「山形大学レイシャル・ハラスメント防止セミナー～留学生・外国人研究者への対応において気を付けるべきこと～」を開催しました。
- ・令和5年12月12日に令和5年度「山形大学男女共同参画及びダイバーシティ推進賞」表彰式を開催しました。

### 山形大学ダイバーシティ推進室

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

023-628-4937/4939

E-mail [yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

URL <https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

